



スローライフ鳥取

鳥取ガス株式会社

取締役社長

児嶋祥悟

モノの豊かさを求め、ひたすら走り続けた戦後六〇年。しかし続発する事件や犯罪によって、心の荒廃を癒す手立てが求められている。一例が、目的だけ目指す直線コースではなく、ゆっくりゆったりしたスローライフへの転換である。

交通アクセスが遅れた山陰に、そんなゆとりはないという意見もあるが、単純に徐行運転ばかりせよという意味ではない。真意は地元其自然・食材・歴史などを見直し、資源と文化を線でつないで、さらに面へ充実させようというもの。つまり物事を味わうにも、スロー&スピードの変化ある組み立てが必要だ。音楽や芸能だって、すべて緩急自在で飽きさせないではないか。

そのためには、まず鳥取人が郷土をよく知り、自らの価値を認識しよう。足元の魅力に気付かないで、県外客も接待できるはずがない。速いばかりでは見落とすものも多く、鳥取こそスローライフにふさわしい土地。そんな柔らかな哲学と官民協働で、街づくりや全県観光に尽くしたいものである。